

姫路市立網干環境楽習センターに係る指定管理者の指定について

1 管理を行わせる施設

- (1) 名 称 姫路市立網干環境楽習センター
- (2) 所在地 姫路市網干区網干浜4番地1

2 指定管理者候補者

- (1) 名 称 NPO法人あぼしまちコミュニケーション
- (2) 代表者 理事長 勢川 正澄
- (3) 所在地 姫路市網干区余子浜12番地

3 指定期間

令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

4 選定理由

姫路市立網干環境楽習センター条例第19条第2項各号に掲げる基準及び姫路市指定管理者制度導入基本方針に定める基準を基に、指定管理者選定委員会が定める基準に基づき審査を行った結果、要求要件を満たされていることが確認され、指定管理者候補者に選定した。

5 評価内容

- ・NPO法人あぼしまちコミュニケーションは、地元全自治会が基盤となり設立した法人であり、あぼしまち交流館などを通じての網干地区内の地域団体との連携は強固で地域コミュニティの醸成を図っている。
- ・他施設の運営補助に携わるなど運営にかかる実績、スキルの深まりが確認でき、今後の運営管理において安定性・継続性が期待できる。
- ・姫路市立網干環境楽習センターは、地域の振興・活性化を目的とする地域密着型の施設として位置付けている。今後、当施設に対し地域住民が親しみを持ち、積極的に利用してもらうためには、地域住民等で組織された当該法人により管理運営を行うことが必要である。施設の設置目的を効果的に達成するため、さらに様々な工夫を求める。

6 農林水産環境局指定管理者選定委員会（第1部会）委員

	役 職	氏 名
委員長	姫路市農林水産環境局長	三宅 和宏
副委員長	京都経済短期大学大学准教授（学識経験者）	小島 理沙
委員	姫路市農林水産環境局美化部長	土井 強
	姫路市連合婦人会 会長（市民・利用者代表）	岩田 稔恵

	公認会計士	沖野 智子
--	-------	-------

7 選定経緯

(1) 募集方法 非公募

(2) 選定委員会検討経過

現地視察 令和6年7月25日 姫路市立網干環境楽習センター等管理施設の現地視察

第1回 令和6年7月25日 現指定管理者に対する評価、申請手続要領・審査基準等の審議・決定

第2回 令和6年9月30日 申請書類の審査、プレゼンテーション及び質疑による審査、指定管理者候補者の選定

(3) 評価結果

各委員が以下の評価項目について、各種申請書類並びに申請者によるプレゼンテーション及び質疑に基づき厳正な審査を行った結果、要求要件を満たしていることが確認され、指定管理者候補者に選定した。

	大項目	中項目
評価項目	事業計画等の評価	施設の管理運営方針
		施設の効用を最大限に発揮・管理経費の縮減
		施設の管理を安定して行う能力
	管理運営経費の評価	指定管理料提案額（単年度平均：53,560,600円）
		収支計画の妥当性

(4) 議事要旨

・現地視察

エコパークあぼし内の姫路市立網干環境楽習センター等管理施設を視察した。

・第1回選定委員会

事務局から「選定委員会のスケジュール」、「指定管理者制度の概要」について説明を行った。

「現指定管理者の評価」について審議を行い、収支決算書の収支状況が不明確であるとして、修正したものを委員長、副委員長に確認をいただくことで承認された。

「姫路市立網干環境楽習センター指定管理者申請手続要領（案）」について実現性の低いものがあるとして業務内容の見直しを図り、修正したものを委員長、副委員長に確認をいただくことで承認された。

「審査基準（案）」について審議を行い、原案どおり承認された。

・第2回選定委員会

事務局から令和4・5年度の決算、申請者から提案された予算、指定管理料について概要説明、沖野委員（公認会計士）から「団体の経営の安定性・継続性」の審査結果を報告した後、申請書類により書類審査を実施した。

申請者からのプレゼンテーション及び質疑応答による審査において管理経費の積算内訳や研修計画の説明を求めたほか、今後は定量的指標の活用や新たな普及啓発活動等の運営の方向性についての期待を伝達した後、各委員の評価を確定した。

8 候補者の決定

令和6年10月11日開催の指定管理者制度運用委員会において候補者を決定